

# 『月 迫 便 り』



後志教育研修センター  
所長 長谷川 誠

## 【はじめに】

早いもので1年の終わりの時期となっております。当センターの研修講座事業等について振り返ってみます。本年度の講座を開講するにあたり、留意した点が幾つかあります。気軽に参加できる講座を目指し、全講座を午後の半日日程とし、一度学校に出るからの参加を可能にしました。また、1コマだけ受講できる外部講師の公開講義を設定しました。次に、充実感を味わえる研修講座を目指し、演習を取り入れた参加型の研修を工夫し、少人数によるワークショップ型の研究協議を行ったり、また小中連携の研修内容を盛り込むことを意識した取組をおこないました。

## 【本年度の実績は】

研修講座の内容では、学校教育26講座、社会教育1講座、幼児教育1講座の合計28講座を実施しました。感染対策の関係で学校現場では厳しい環境になっているにもかかわらず、最終的には、受講者は昨年度を40名以上も上回る、695人を数えることができました。これは後志小樽の教職員数の凡そ53%にあたります。管内教職員の研修に対する高い意欲と熱意を感じることができました。研修講座へ積極的に参加するよう働きかけてくれた校長先生方にも感謝申し上げます。

## 【受講者の特徴は】

本年度に見られた研修講座の特徴としては、参加者の受講する姿勢が非常に前向きで、研修の重要性をしっかりと認識した姿がありました。受講後の自己の課題達成率及びアンケートを見ると、教職員一人ひとりが講座に対して、主体的にかつ積極的に取り組んだ姿勢がうかがわれました。また、初任段階教員を中心とする若い先生方が目的意識を明確に持って受講していることに頼もしさを感じました。

研修講座の成功の鍵は何と言いましても講師の意識の高さにかかっております。講師陣が大変意欲的で、質の高い研修内容を提言しておりました。特に、初任段階教員に向けては分かりやすく、丁寧にかみ砕いて話をしていました。そのような意味において、本年度の講師は当センターの研修講座の意義を的確に捉えて、その責務を全うしてくれました。



〈 幼保小の連携講座 〉

## 【研修講座受講証明書、いかがでしたか】

講座の全課程を修了した先生に『研修講座受講証明書』を渡しました。新たな教員研修制度の導入に伴い、各先生方が研修履歴を作成する段階で活用してもらえればと思います。また、受講者には「この証明書を持って校長先生に報告して下さい」と話しています。学校長と先生方の対話の一つのきっかけとなれば幸いです。受講証明書を3枚もらった先生が複数人いました。非常に熱心に各講座を受講し、自己のスキルアップにつなげている姿は素晴らしいの一言につきます。

## 【指導案バンクをご存じですか】

当センターでは、昨年度より教職員の授業力向上をねらいとして後志管内の教職員が日常実践している指導案や略案、授業づくりのコンテンツなど集めた『指導案バンク』を作成しています。指導案コンテンツの閲覧方法は既に各学校に案内がいていると思いますが、春に配付した『研究紀要NO.97』の表紙にあるQRコードからも入れます。

〈算数・数学科講座 古平中の先生方と〉

## 【調査研究事業報告会に来て下さい】

結びになりますが、年明けの1月11日（木）、調査研究事業報告会を倶知安町文化福祉センター2階公民館中ホールで開催します。これは当センターで進めている学習指導に関するの研究と社会教育に関する研究の中間報告です。当日は飛び込み参加も大歓迎ですので、興味がありましたら是非いらしてください。



《R5.12.26》